



2018年12月号 (vol.57)

ひぐちん通信

ヒグチ鋼管株式会社 〒547-0001 大阪市平野区加美北 4-6-21

Tel:06-6791-7788 fax:06-6791-8588 携帯:090-3659-2743 代表取締役 樋口浩邦

◆フロスで詰め物が取れてしまっても…◆

こんにちは、お世話になっております。ヒグチ鋼管代表の樋口です。ひぐちん通信第57号をお送りいたします。よろしく願いいたします。

さて、2016年11月発行のひぐちん通信第32号で、東大阪のヨリタ歯科さんのことを書きました。虫歯にならないための予防歯科に力を入れられていて、私もそこで教わったとおり、歯磨きだけでなく、歯ブラシでは届かない歯と歯の間を細い糸で掃除する“フロス”もするようになりました。最初の頃は、フロスをする度に歯茎から出血していましたが、今では歯茎が強くなり、出血もせず、歯茎の調子も良好です。ただ、今年、私はそのフロスによって、詰め物が2度取れてしまいました。

私は片手で使える便利なY字型のフロスを使っているのですが、歯と歯の間に糸の部分差し込んで掃除し、そこからまた外そうとしたときに、よく詰め物に引っかかっていました。おそらく、歯と詰め物の間に隙間ができていたのだと思います。

思い起こせば、この詰め物のほとんどは、小学生や中学生の10代のときに詰めたもの。そこから20代、30代、40代と30年も経っているわけで、その間に、歯が多少なりとも欠けるなどして、歯と詰め物の間にわずかな隙間ができ、そして、ある日のフロスで、ぽろっと取れてしまったのです。

1度目は左上の奥歯。そのときはそれをきれいにして、また詰めてもらえました。ただ、2度目、右下の奥歯のときは、どうやら歯と詰め物の間に虫歯になりやすいものが入り込んでいたらしく、歯の表面を少し削り、また新たな詰め物をするようになりました。今はそういうことで、元通りと言いますか、健康な状態に戻りました。

おそらく、私以外にも、詰め物をして30年以上が経過している人はいると思います。そして、歯と詰め物の間に多少なりとも隙間ができ、虫歯になりやすい状況にある人もいると思います。



というわけで、まだ歯ブラシだけの人は、是非1日1回はフロスもして、詰め物がそこで取れてしまっても、きれいに治す良い機会！と前向きに捉え、良好な口腔状態を保っていただければと思います(笑)。

◆そこか情報◆

(そ・即納・こ・小口対応・か・加工) 当社の改善の取り組みをご紹介します。



①寸法精度を更に高めるため、プレス切断機の寸法位置決め装置(デジタル)に鉄のメジャーを貼り付けました(=^0^=)



②残材置き場を整理しました(ノマ)`各サイズに荷札を差し込み、肉厚ごとに荷札の色を変えました(・▽・)イイネ!!



③本社工場2階を南北に縦断する滑車のレール(黄色)を新しく製作しました(*≧▽≦*)スゴイ!!



④ケガ・ミス・事故防止のため、指差呼称を社内に浸透させる取組を始めました(=^0^=)

◆発行者コラム◆

今回もまた、最後までお読みいただきどうもありがとうございます！さて、先日、マグ住之江フットサルスタジアムにて行われました、大阪鐵鋼流通協会主催、第1回フットサル大会にヒグチ鋼管として出場してきました！もちろん私は応援席(笑)。サッカー経験者である荷造り・配送課の岩井さん、それから、ベトナム実習生たちの活躍もあり、予選リーグを1位通過。決勝リーグでは、得失点差により、惜しくも第3位でした。頑張った彼らを称え、終了後には王将にて食事会を行いました(笑)。樋口

【発行者プロフィール】

名前: 樋口浩邦(ひぐちひろくに) Eメール: hirokunister@gmail.com

誕生日: 昭和41年3月16日 出身地: 大阪市東住吉区

経歴: 関西大学卒業後、弊社の主要仕入先である丸一鋼販(株)に入社。

名古屋営業所で5年間お世話になった後、当社に入社。平成13年7月に代表取締役就任し、現在にいたる。

趣味: 映画鑑賞 モットー: 『大丈夫! なんとかなる(´▽`)/』

